※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ(文系)	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	キートレーニング数学演習　Ⅰ・Ⅱ・A・B　(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では国公立大２次試験や有名私立大の入試問題を演習形式で扱うことで、論理的思考力や表現力を育成していきます。
・問題を解くためのノートを用意し，授業前に予習をしてください。その際，粘り強く考えてみることと，乱雑なメモのように書くのではなく，試験での解答を意識した記述を心がけること。
・授業内での解説や生徒同士の共同での考察する活動を通して論理的に考える力・入試問題に対応できる力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

有名私立大や国公立大２次試験の問題を演習形式で扱うことで、生徒の論理的思考力や表現力を育成し、数学におけるさまざまな課題に積極的に挑戦する姿勢を養成するとともに，大学入試の２次試験に対応できる力をつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	入試問題を解くことを通して数学という学問に関心をもつとともに,それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 また,別解を探すことでいろいろな捉え方ができるような意欲をもつ。	事象を数学的に考察し表現したり,思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して,数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に正しく表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学の基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価方法	定期考査。 学習活動への取り組み。 課題、提出物の状況。 確認テスト。	定期考査。 提出レポートの内容。 提出ノートの内容 確認テスト	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ベクトル	ベクトル ベクトルと平面図形 ベクトルと空間図形	○	○	○	○	a: ベクトルの考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b: 条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c: 実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d: 問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
	数列	等差数列・等比数列 種々の数列 漸化式と数列 数学的帰納法、数列の応用	○	○	○	○	a: 数列の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b: 条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c: 実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d: 問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
	式と証明	二項定理、整式の除法、分数式の計算 恒等式、等式・不等式の証明	○	○	○	○	a: 式と証明の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b: 条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c: 実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d: 問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察

※令和３年度以前入学生用

	複素数と方程式	複素数とその計算、2次方程式の理論 剰余の定理・因数定理、高次方程式	○	○	○	○	a: 複素数の性質に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b: 条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c: 実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d: 問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
	図形と方程式	点と直線 曲線と直線 軌跡と領域	○	○	○	○	a: 図形と方程式の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b: 条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c: 実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d: 問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
後期	三角関数	三角関数(1) 三角関数(2)	○	○	○	○	a:三角関数の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b:条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c:実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d:問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
	指数関数・対数関数	指数関数 ・対数関数(1) 指数関数 ・対数関数(2)	○	○	○	○	a:指数関数・対数関数の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b:条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c:実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d:問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察

※令和３年度以前入学生用

	微分法・積分法	導関数と接線 関数の値の変化 微分法の応用 不定積分・定積分 面積(1) 面積(2)	○	○	○	○	a:微分法・積分法の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b:条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c:実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d:問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
	数と式	式の計算 式の値 1 次不等式 命題と集合	○	○	○	○	a:数と式の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b:条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c:実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d:問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察
	２次関数	関数とグラフ 関数の最大・最小 2次方程式・2次不等式 2次関数のグラフと x 軸の共有点	○	○	○	○	a:２次関数の考え方に興味をもって積極的に問題に取り組む。 b:条件を正しく読み取り，数学的に考察して表現，記述をすることができる。 c:実際の入試問題を解くための技能を身に付けている。 d:問題を解くために必要な基本的な概念や原理・公式等を理解している。	定期考査 確認テスト 提出物 観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。